

ヤナギルリハムシ

春から初秋にかけてポプラやヤナギの葉を食べるイモムシ（幼虫）または甲虫（成虫）。幼虫は最大長約4mm。成虫は青く輝く、体長4mm。幼虫、成虫ともに葉を網目状に食害する。

北海道内のヤナギでときどきハムシと思われる食害が発生する。本種の可能性があるが、確かめていない。

【学名】 *Plagiodera versicolora*

【分類】 コウチュウ目（Coleoptera）, ハムシ科（Chrysomelidae）

【生態】

成虫越冬。本州では春から秋の間に5～6回発生するといわれている。

北海道立林業試験場・緑化樹センター

ヤナギルリハムシ hamusi/yanagiru/
kaisetu.htm

「文章」 原秀穂, 北海道立林業試験場, 2001/8/18.